

ReadyNAS 6.5.0 アップグレード手順（初期化を含む）

※この手順はデータの初期化を伴います。実施いただく場合には事前にバックアップを取得することを強く推奨致します。万が一データのバックアップを取得しない状態で、初期化を実施されても、弊社としてはデータの保証は出来かねますので、あらかじめご了承ください。

手順概要：

- [データバックアップ](#)
- [ReadyNAS OS のアップグレード](#)
- [データの初期化](#)
- [デバイスの設定](#)
- [MyNETGEAR の登録 \(ReadyCLOUD を使用する場合必須\)](#)
- [アプリ \(iOS, アンドロイド\)、アプリケーション \(Windows, Mac\) のインストールまたはアップグレード](#)

データバックアップ

- [データのバックアップ \(強く推奨\)](#)
- [ReadyCLOUD ユーザーのホーム領域のバックアップ](#)
- [ReadyNAS の設定のバックアップ](#)

データのバックアップ (強く推奨)

保存されているデータはアップグレードを行う ReadyNAS とは別の領域へバックアップを事前に取得下さい。本アップグレード手順では、データの初期化を伴いますので、バックアップがない場合、データが消失しますので、バックアップを取得いただくことを強く推奨します。

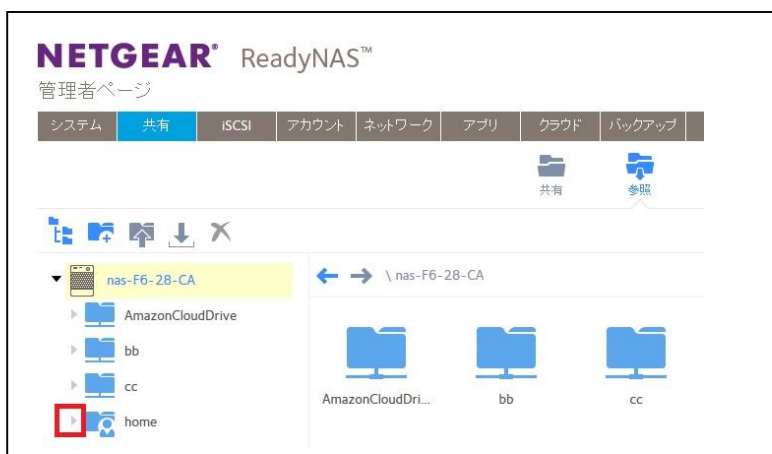
バックアップの例：

- ReadyNAS のバックアップジョブで ReadyNAS に接続した USB HDD にバックアップを取得。

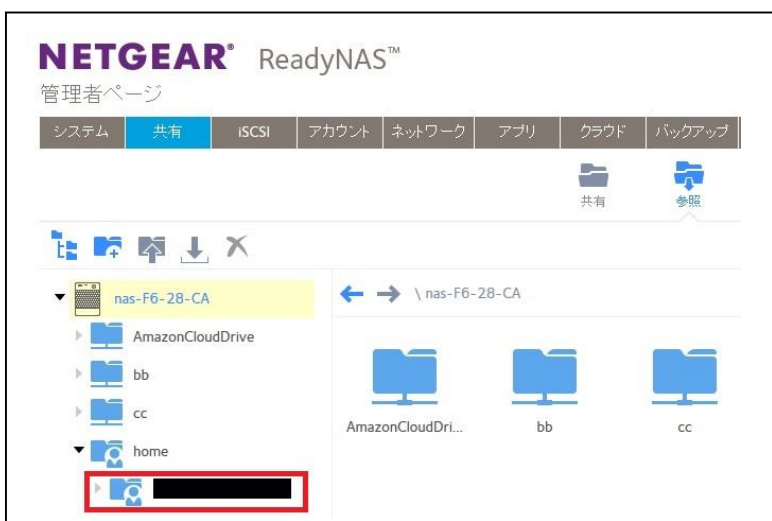
ReadyCLOUD ユーザーおよびローカルユーザーのホーム領域のバックアップ

ReadyNAS の管理画面に **admin** でログインします。(デフォルトのパスワードは password となります。)

管理者ページ > [共有] > [参照] > 左のペインに共有 [home] があることを確認
[home] の左横の三角をクリックします。



各ユーザー名をクリックし、中身のデータのバックアップを取得します。



ReadyNAS の設定のバックアップ

ReadyNAS の設定ファイルをバックアップします。

管理者ページ > [システム] > [設定] > [設定のバックアップ]

[全て] を選択し、[設定ファイルをダウンロードする] にてファイルを任意の場所に保存します。

※バックアップ対象として含まれないもの（6.4.2 現在）：

ホスト名

WakeOnLAN の有効無効設定

NTP の設定(タイムゾーン・サーバ)、

iSCSI グループ (iSCSI LUN は作成される)

AD ユーザー、グループ



ReadyNAS OS のアップグレード

ReadyNAS OS のアップグレードを行います。(2016/5/18 現在最新 6.5.0)

アップグレードの方法は自動アップグレードと手動アップグレードがあります。

ここでは簡易的な自動アップグレードでの方法を紹介します。

1. RAIDar から [設定] ボタン、あるいは、ブラウザに ReadyNAS の IP アドレスを直接入力し、ReadyNAS の管理画面に入ります。

注意点：RN102, RN104 の ReadyNAS でファームウェアバージョンが 6.2.4 以下の場合、1 度ファームウェアを 6.2.5 にアップグレードする必要があります。

RN2120 の ReadyNAS でファームウェアバージョンが 6.2.3 以下の場合、1 度ファームウェアを 6.2.4 にアップグレードする必要があります。

(下記リンクをダウンロードし、解凍後、管理者ページ > [システム] > [設定] > [アップデート] > [ファームウェアのインストール] にて .img ファイルを選択)

RN102, RN104 用 6.2.5 ファームウェア：

http://www.downloads.netgear.com/files/GDC/READYNAS-100/ReadyNASOS-6.2.5-arm_RN102_RN104.zip

RN2120 用 6.2.4 ファームウェア：

http://www.downloads.netgear.com/files/GDC/READYNAS-100/ReadyNASOS-6.2.4_arm.zip

2. ログイン後、6.5.0 が利用可能と通知がありますので、[アップデート] を選択します。



3. ダウンロードが開始されます。進捗状況はステータスバーで表示されます。



4. ファームウェアダウンロード後、再起動を行います。



再度[OK]を押すと、自動的にシステムは再起動します。

これにて初期化作業は開始されます。

初期化後は、ディスクの再同期作業が開始されます。ディスクの容量や ReadyNAS のスペックによりかかる時間は変化します。再同期が終わるまでは電源はつけたままにしてください。

終了予想時間は **管理者ページ > [システム] > [ボリューム]** にて確認頂けます。

・初期化後は IP が DHCP に変更されますので、再度 RAIDar にて検出、[管理者ページ]より接続下さい。

・ブラウザのキャッシュに以前の ReadyNAS の情報が残り管理画面が表示されないことがあります。この場合、ブラウザのキャッシュクリアや別のブラウザ経由でアクセス下さい。

Boot Menu からの初期化

以下の手順を参照してください。

デスクトップ型 ReadyNAS (2, 4, 6 Bay)

(RN102, RN104, RN202, RN204, RN212, RN214, RN312, RN314, RN316, RN516, RN716)

http://www.netgear.jp/support/download/tips/RNOS6_initialize.pdf

ラックマウント型 ReadyNAS

各ハードウェアインストールガイドをご参照下さい。

初期化後は、ディスクの再同期作業が開始されます。ディスクの容量や ReadyNAS のスペックによりかかる時間は変化します。再同期が終わるまでは電源はつけたままにしてください。

終了予想時間は **管理者ページ > [システム] > [ボリューム]** にて確認頂けます。

・初期化後は IP が DHCP に変更されますので、再度 RAIDar にて検出、[管理者ページ]より接続下さい。

・ブラウザのキャッシュに以前の ReadyNAS の情報が残り管理画面が表示されないことがあります。この場合、ブラウザのキャッシュクリアや別のブラウザ経由でアクセス下さい。

デバイスの設定

- ・RAIDar を使用した初期設定方法

以下のリンクを参照の上、設定下さい。

http://www.netgear.jp/support/download/tips/RNOS6_Initialsetup.pdf

MyNETGEAR の登録 (ReadyCLOUD を使用する場合必須)

ReadyCLOUD を使用する場合、MyNETGEAR アカウントの登録が必須となります。

ここでは、

- [MyNETGEAR のアカウント作成し、ReadyCLOUD サービスを有効化](#)
[および、ReadyCLOUD からの ReadyNAS デバイス検知](#)
- [他のユーザーを ReadyCLOUD へ招待 \(任意\)](#)

を紹介します。

MyNETGEAR のアカウント作成し、ReadyCLOUD サービスを有効化 および、ReadyCLOUD からの ReadyNAS デバイス検知

1. ReadyCLOUD のサービスを有効にする

管理者ページ > [クラウド] > [ReadyCLOUD] の”OFF” の横のバーをクリックする。



ログイン画面が表示されますが、ここではアカウントがないため、[アカウント作成] をクリックします。

MyNETGEARアカウントに参加する

メールアドレス:

パスワード:

[アカウント作成](#) [アカウントを忘れた場合](#) [使用条件](#) [プライバシーポリシー](#)

2. MyNETGEAR アカウント作成ページに飛びますので、以下のように従い入力します。

Email : メールアドレス (**4-32 文字以内**)

First Name : 名前を入力 (ローマ字)

Last Name : 苗字を入力 (ローマ字)

Password : パスワードを入力

6 文字以上、大文字、小文字、数字をそれぞれ 1 文字含む必要があります。

記号として使用できるのは、!@#%&*0 となります。

Re-enter Password : 上記にて設定したパスワードを再度入力

入力後、“I agree to the terms and conditions” にチェックをつけ、[Create] をクリックします。

Create a MyNETGEAR account

Email:

First Name:

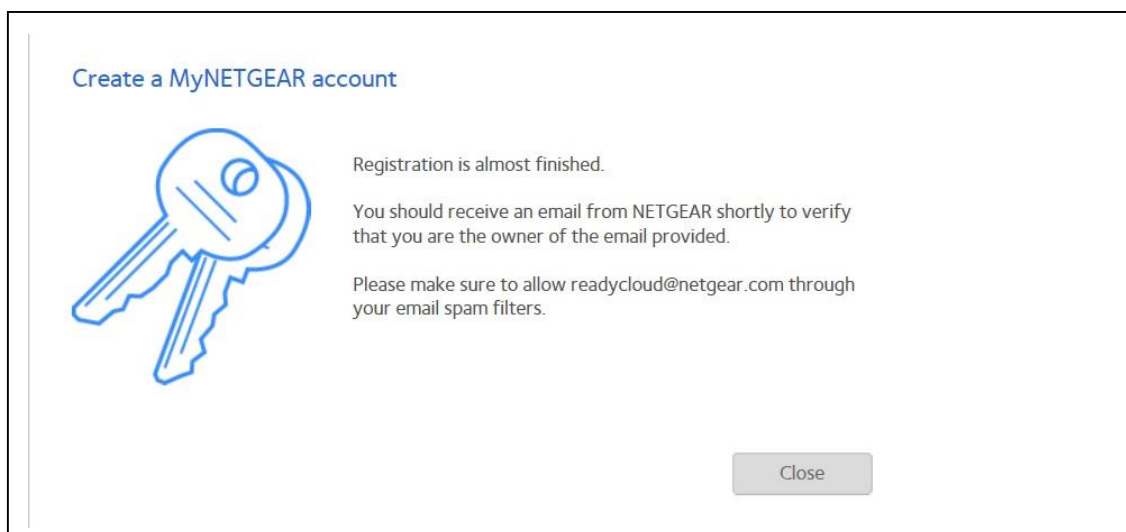
Last Name:

Password:

Re-enter Password:

I agree to the [terms and conditions](#)

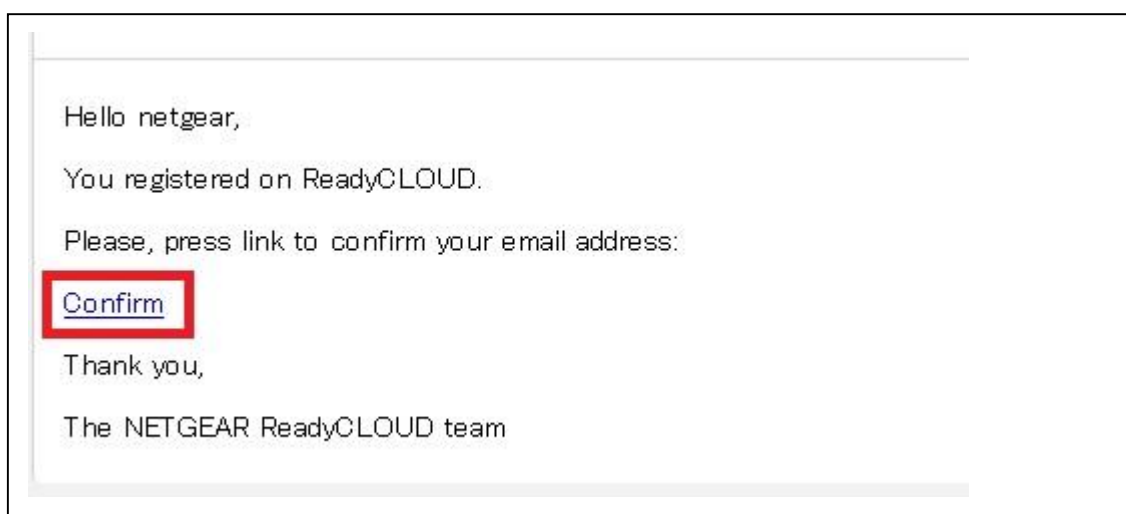
3. 入力没有问题の場合、次の画面に進み以下のような画面となります。



登録したメールアドレスに以下のようなメールを受け取っているか確認します。

※メールが届くまで最大 48 時間かかる場合があります。

届いている場合、[Confirm] をクリックします。



以下の画面となれば認証は完了です。

※複数メールを送った場合、最新のメールから[Confirm]する必要があります。



4. MyNETGEAR のアカウント情報を使用し、ログインします。

ログイン後、[現在登録および共有デバイスがありません] と表示される場合、以下を確認して下さい。

- ・管理者ページ > [クラウド] > [ReadyCLOUD] のサービスが [ON] となっているか

→ [ON] になっていない場合、MyNETGEAR アカウントでログインする

→再度 <http://readycloud.netgear.com> に接続し、ログインする

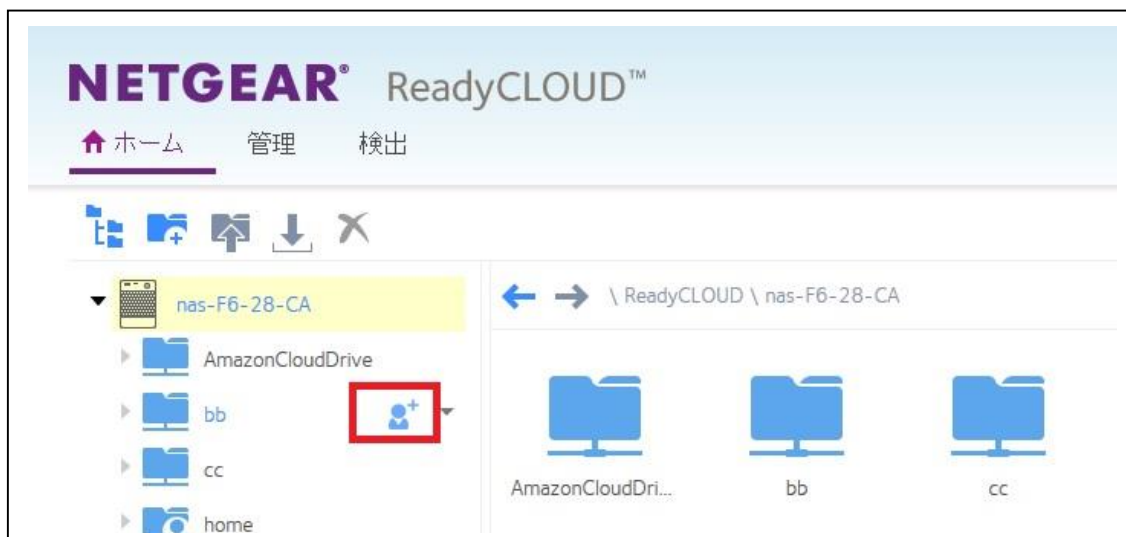


ログイン後、以下のように ReadyNAS および共有が見えれば、設定は完了です。



他のユーザーを ReadyCLOUD へ招待（任意）

1. <http://readycloud.netgear.com> に ReadyCLOUD 管理者のアカウントでログインします。ログイン後、[ホーム] から ReadyNAS 内のシェアしたい共有の右側にカーソルをもっていきます。そうすると人を追加するアイコンが表示されます。アイコンをクリックします。



2. 選択できるメニューは2つ存在します。

リンクで共有：

特定のユーザーではなく、リンクを送信します。

パスワードやアクセス数を設定することもできます。

招待ユーザー向けのオプションではないため今回は選択しません。

フルフォルダーアクセス（フォルダ：[共有名]）：

ユーザーを招待し、選択した共有に対してアクセス権限（リードオンリー（読み取り専用）、あるいはリードライト（読み書き権限））を付与します。

ユーザー招待の場合にはこちらのオプションを選択します。

[フルフォルダーアクセス（フォルダ：[共有名]）] 選択後、[次へ]をクリックします。

フォルダーをどのように共有しますか？

リンクで共有(フォルダ：bb)

これによりメールやソーシャルメディア経由で簡単に他の人へ送信可能なインターネットリンクを生成することができます。このリンクはフォルダ中のファイルの参照やダウンロードに使用することができますが、ファイルやフォルダは編集できません。

フルフォルダーアクセス(フォルダ：bb)

これにより誰かが自身のReadyCLOUDアカウントを作成してReadyCLOUDウェブポータルやモバイルアプリ、PC用アプリを使って選択したフォルダにアクセスできるよう招待することができます。

キャンセル

3. 下記、③の項目に招待ユーザーのメールアドレスを入力します。入力後、自動的に既存のユーザーとして登録があるかのチェックが自動で行われます。その後、[招待] をクリックします。

【それぞれのアイコン、属性の説明】

- ① 既に招待承認済みのユーザーは雲に人のアイコンとなります。
- ② 招待メール送信済みではあるが、承認されていないアカウントはメールのアイコンとなります。
- ③ 招待するメールアドレスを入力します。
- ④ 招待するユーザーのアクセス権を選択します。

リードオンリー：読み取り専用



ファイルのコピーはできますが、編集や削除、また新規作成は行えません。

リード/ライト：読み書き権限

ファイルのコピー、編集、作成、削除可能となります。

'bb' の共有フォルダーオプション

2メンバー

メールアドレス	アクセス
 [Redacted] ①	リード/ライト ▼ ×
 [Redacted] ②	リード/ライト ▼ ×
[Redacted] ③	④ リード/ライト ▼ リードオンリー リード/ライト

お使いのシステムにEメールが存在しません。アカウントの作成方法と共有の方法について説明された招待メールが送信されます。

キャンセル [招待]

4. 他の共有に”匿名アクセス”が有効になっているものがある場合、以下のように招待ユーザーからのアクセスを許可するか聞かれます。(特に聞かれない場合、この手順はスキップしてください。)

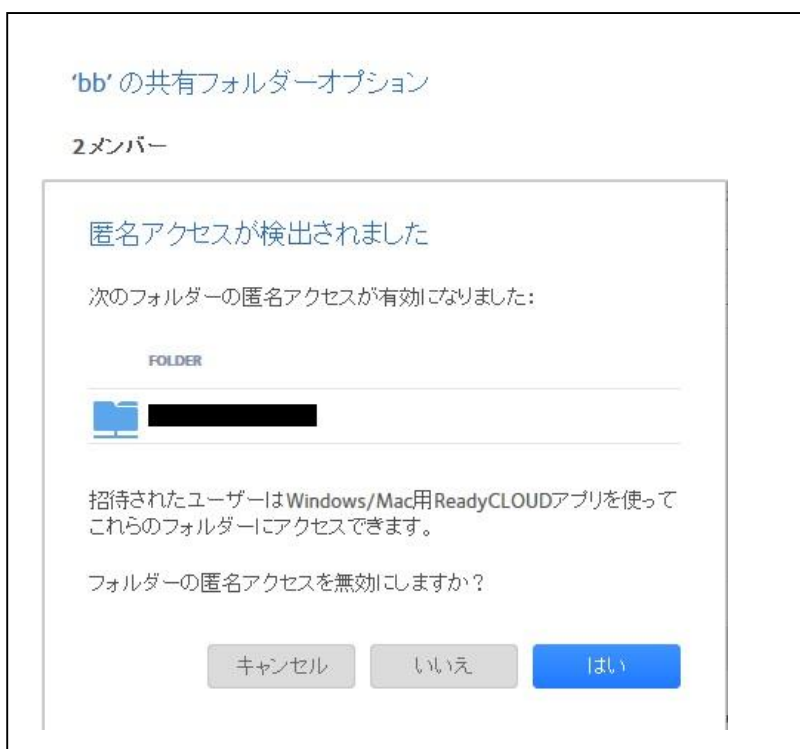
適切なものを選択して下さい。

いいえ：表示されている共有匿名アクセスを有効のままにします。

ReadyCLOUD ユーザーはこの共有に対してアクセス可能となります。

はい：表示されている共有の特定アクセスは無効となります。

ReadyCLOUD ユーザーはこの共有に対してアクセス不可となります。



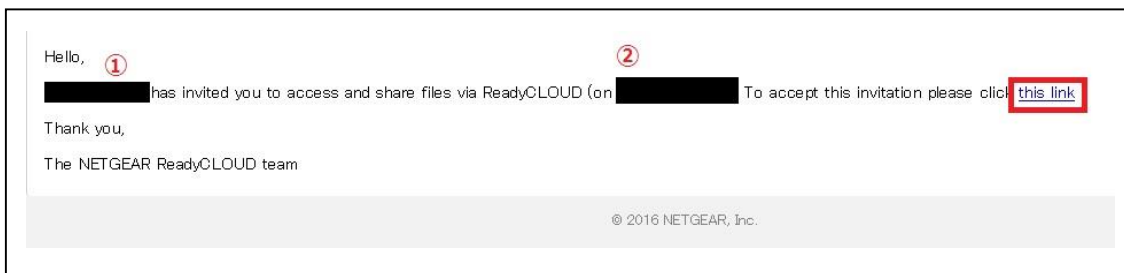
5. 招待メールが送信されることが表示されます。
[OK] をクリックするとメールが送信されます。



6. 招待ユーザーには以下のようなメールが届きますので、**[this link]** をクリックします。

【説明】

- ① ReadyCLOUD 管理者ユーザー名
- ② ReadyNAS ホスト名



※招待の操作を同じ PC で実施している場合、**[this link]** クリック後、以下のようなエラーが発生します。

エラーが発生した場合、

- ・ ReadyCLOUD からログアウトする
- ・ 再度、招待ユーザーに送られたメールの **[this link]** をクリックする

ことで進むことが可能です。



7. 招待ユーザーで MyNETGEAR アカウントがない場合、以下のように MyNETGEAR アカウント作成画面に移行します。

Email : 既に入力されているため入力不要 (**32 文字以内である必要があります**)

First Name : 名前を入力 (ローマ字)

Last Name : 苗字を入力 (ローマ字)

Password : パスワードを入力

6 文字以上、大文字、小文字、数字をそれぞれ 1 文字含む必要があります。

記号として使用できるのは、!@#\$\$%^&*() となります。

Re-enter Password : 上記にて設定したパスワードを再度入力

“使用条件に同意します” にチェックし、[作成] をクリックします。

MyNETGEARを作成する

招待を承諾するためには、MyNETGEARアカウントが必要です。

メールアドレス: [Redacted]

名前: [Redacted]

苗字: [Redacted]

パスワード: [Redacted]

パスワードをもう一度入力: [Redacted]

使用条件に同意します

作成 キャンセル

8. 次にアカウントの統合の有無を聞かれます。
今回の場合、新規作成となりますので、[統合せずに続ける。] を選択します。

招待の承認

お使いの MyNETGEAR アカウントは、ReadyCLOUD アカウントと統合されていません。ReadyCLOUD アカウントをお持ちの場合は、ReadyCLOUD アカウントを MyNETGEAR アカウントに統合することをおすすめします。招待を承諾した後は、本作業をおこなうことはできません。

ReadyCLOUD ユーザー名: [Redacted]

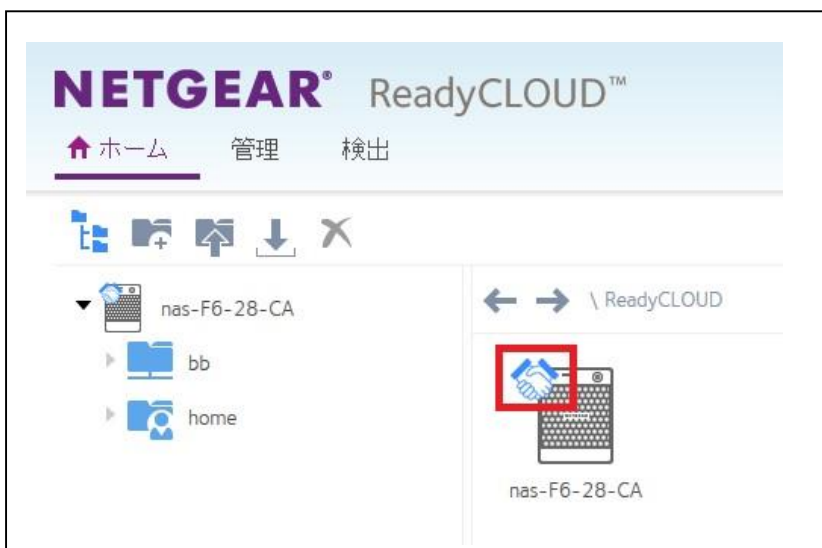
ReadyCLOUD パスワード: [Redacted]

統合して続ける。 統合せずに続ける。 キャンセル

以下の画面となれば招待の処理は完了となります。



招待ユーザーでログインし、[ホーム] から確認すると握手しているアイコンが確認できます。



アプリ (iOS, アンドロイド)、アプリケーション (Windows, Mac) のインストールまたはアップグレード

・アプリ (iOS, アンドロイド)

ご使用のスマートフォンあるいはタブレットより、”ReadyCLOUD ” を検索し、アプリのインストール、あるいは、アップデートを行ってください。

iOS : [App Store] > [検索(Search)] > “ReadyCLOUD” と入力

アンドロイド : [Play ストア] > “ReadyCLOUD” と入力

アップグレード後、ログインする時は、作成した MyNETGEAR アカウント (メールアドレス) とパスワードをご使用下さい。

・アプリケーション (Windows, Mac)

以下のリンクよりパッケージをダウンロードし、インストール、あるいは、アップグレードを実施してください。

アップグレード後、ログインする時は、作成した MyNETGEAR アカウント (メールアドレス) とパスワードをご使用下さい。

Windows ReadyCLOUD :

<http://readycloud.netgear.com/client/install/ReadyCloudSetup.exe>

Mac OS X ReadyCLOUD :

<http://readycloud.netgear.com/client/install/ReadyCLOUD.pkg>